

調査速報

外食需要動向(2024年1月)

外食需要の減速感が強まっており、今後はより低価格業態へのシフトが進む可能性がある

主任研究員

佐橋 官

045-225-2375

sahashi@yokohama-ri.co.jp

要約

- 2024年1月の実質外食支出金額(季調済)は、全国、関東地方とも前月比マイナスとなり、足元の外食需要の減速感が強まっている。
- 2024年1月の外食産業売上高は堅調であったものの、今後の需要鈍化が懸念される。
- ファミリーレストラン業態では新年の「ハレ」の日需要の取り込みに成功したが、今後、顧客はより低価格業態へとシフトする可能性がある。

1. 実質外食支出金額は全国で3か月連続、関東地方で2か月連続の前月比マイナス

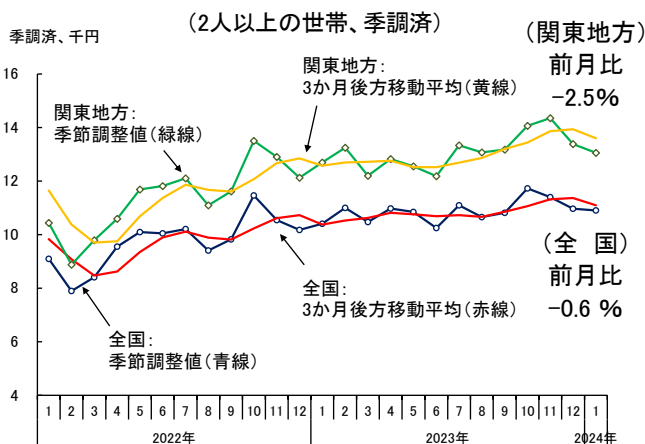
総務省「家計調査」に基づく2024年1月の1世帯あたり実質外食支出金額(季節調整済)は、全国が前月比0.6%減(前年同月比5.0%増)、関東地方が前月比2.5%減(前年同月比2.8%増)となった(図表1)。元日に発生した能登半島地震の影響もあり、実質外食支出金額は全国で3か月連続、関東地方で2か月連続の前月比減少となっており、足元の外食需要の減速感は強まっているとみる。新年会や帰省などに伴う外食需要は堅調であったとの報道などを考慮すると、いわゆる「ハレ」の日需要と、日常の外食需要で二極化が生じていると考えられる。物価の上昇により家計では外食支出の抑制が続いている。

2. 2024年1月の外食産業売上高は堅調であったものの、今後の需要鈍化が懸念される

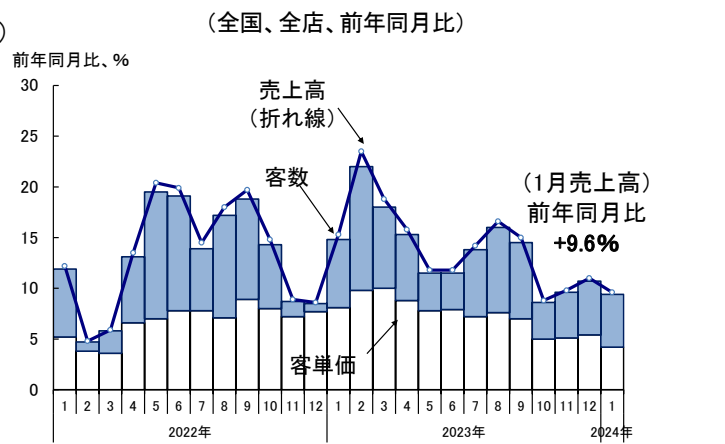
一般社団法人日本フードサービス協会が集計している2024年1月の外食産業売上高(名目値)は前年同月比9.6%増となった(図表2)。売上高の伸び率は前月(2023年12月、同11.0%増)に比べて縮小(悪化)した。売上高の増減要因を分解すると、客数は同5.2%増、客単価は同4.2%増となった。

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の「5類」に移行した後の最初の忘年会・新年会需要は堅調に推移したとみられる。ただし、昨年の客数の動きをみると、政府による「5類」への移行の方針が示された2023年2月をピークに増加率は鈍化傾向にある。前述のように、家計の外食支出金額は、物価上昇の影響を除いた実質ベースでは減少に転じており、今後も需要鈍化が懸念される。

図表1 実質外食支出金額は前月比マイナス



図表2 外食産業売上高の伸び率は縮小(悪化)



3. 2024年1月はファミリーレストランなどが「ハレ」の日需要を取り込んで客数が増加した

2024年1月の客数の伸び率をみると、業態によるばらつきが大きい。ファミリーレストラン業態は同7.3%増、パブ・居酒屋業態は同7.0%増となり、外食産業全体の客数の伸び（同5.2%増）を上回った。「5類」移行後、初めての正月となったことから、新年会や成人式などの、いわゆる「ハレ」の日需要を取り込んだものと考えられる（図表3）。

他方、ファストフード業態は前年同月比4.3%増と伸び悩んだ。さらに、ファストフード業態の内訳をみると、「持ち帰り米飯／回転寿司」の客数の伸び率は前年同月比0.5%増にとどまり、ハンバーガーチェーンなどの「洋風」の客数も同2.1%増と低い伸びとなった。回転寿司やハンバーガーチェーンは、コロナ禍からの客数の回復が早かったことから、前年の水準が高いために前年同月比増加率が低くなった。

また、今後の外食産業の既存店客数の動きにも要注意となろう。洋風ファストフード大手である日本マクドナルドの月次の既存店客数の推移をみると、昨年2月から11月まで前年水準を下回ったものの、12月以降は前年比増加に転じた。また、和風ファストフード大手の吉野家の既存店客数も、2022年後半から2023年前半にかけて前年割れする月が多かったが、2023年6月以降は前年水準を超える集客となっている。消費者の外食需要が、より低価格の業態、あるいはコンビニエンスストアの弁当（中食）にシフトしつつある兆候とみることができる。「ハレ」の日需要が一巡する2月以降の動向に注目したい。

図表3 外食産業売上高（2024年1月、全国、全店）

(前年同月比増減率)				
業 態	店舗数	売上高	客数	客単価
全 体	36,500	9.6%	5.2%	4.2%
ファストフード	21,344	8.9%	4.3%	4.3%
洋 風	6,391	8.1%	2.1%	5.9%
和 風	5,133	13.3%	8.3%	4.6%
麺 類	3,120	12.5%	5.2%	6.9%
持ち帰り米飯／回転寿司	4,291	2.9%	0.5%	2.4%
その他	2,409	9.0%	8.3%	0.6%
ファミリーレストラン	10,148	10.7%	7.3%	3.2%
洋 風	5,055	9.9%	7.3%	2.4%
和 風	2,484	13.0%	7.2%	5.4%
中 華	1,196	11.1%	8.5%	2.4%
焼き肉	1,413	9.7%	3.5%	6.0%
パブ・居酒屋	1,859	10.1%	7.0%	2.9%
パブ・ビアホール	393	15.3%	9.9%	4.9%
居酒屋	1,466	7.8%	5.5%	2.2%
ディナーレストラン	960	12.0%	6.7%	5.0%
喫茶	1,899	10.5%	4.7%	5.5%
その他	290	7.1%	8.6%	-1.4%

注1:全店とは、既存店と新規店の合計。
注2:売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。
注3:売上高、客数、客単価は店内飲食だけでなく店外飲食も含む値。
出所:一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」より浜銀総研作成

本レポートは、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると判断した情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。ご利用の際は、最新の情報をご確認くださいようお願いいたします。